

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・新型車が発売されたこともあり、売上が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・平日の乗客数は横ばいであるが、12月ということもあり、週末は増加している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・平日、週末ともに来場者数が比較的好調に推移している。
	変わらない	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が前年並みである。ただ、今年の年末の特徴として、おせち料理の単価が上昇していることが挙げられる。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・営業時間の拡大により売上が伸びているが、それがなければ、前年を下回っていたと予想される。そのため、景気の動向としてはどちらとも言えない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・12月の売上は、前半が予想よりも悪かったが、後半は良い状態で推移している。ここ3か月の流れでみれば、やや良い方であるが、低迷が続いている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の販売量は前年並みで推移しているが、ビデオ、オーディオ、パソコンが10%から30%減少している。このため、売上が伸びない。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・新型車は売れているが、従来の車が減少し、販売台数は依然として低迷している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の販売量は増加しているが、一方で、通話料金の支払いができない方が大幅に増加している。
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候等に関係なく、来街者数が減少している。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	販売量の動き	・クリスマスケーキの販売量が大幅に減少している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数、売上が前年を下回り、客単価も若干低下している。ファッション関連、紳士用品、事務用品が苦戦し、歳暮についても若干減少しているなど、前年の売上を維持できない。特に、ボーナス支給額の減少のためか、ヤング及びファッション商品は、見るだけで購入につながらない客が多い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の進出のため、客が分散し、販売価格も低下している。また、水産物は、昨年はBSEの影響から好調であったが、今年は低迷している。全体的に良くなく、ボーナスシーズンという感じがしない。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・来客数は変わらないが、客単価が低下しており、売上が4%減少している。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・11月の中旬までは秋・冬物の動きが良かったが、11月下旬以降は、客の購買姿勢が急に慎重になっている。
		その他専門店〔CD〕（店員）	来客数の動き	・来客数が前年よりも大幅に減少している。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・単価の落ち込みが大きく、景気はまだ底を打っていない。もっと悪くなるのではないかと感じる。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・全体的に通信コストに対する節約意識がさらに強まっている。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	単価の動き	・今までは、価格を安くしながら中古住宅の販売でなんとかできていたが、最近は、大幅に価格を下げないと買い手がつかない状況になりつつある。
悪く なっている	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客の動き自体が非常に悪い。景気のバロメーターであるスーツ関係の需要が例年になく少なく、特にスーツ、コートが動きが悪い。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が過去最大の前年割れを記録した11月よりも、さらに悪い結果となっている。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・小グループの会社員の2次会、3次会が少ないため、全体的に来客数が少ない。	
企業 動向	良く なっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数はそこそこあるが、成約率が大変悪い状況が続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注があるのは、勝ち組といわれる電子材料の製造業、製薬会社等のみとなっている。
		通信業（支店長）	受注量や販売量の動き	・今月はやや良い状態であるが、3か月前と比べれば、それほど変化がない。
	やや悪くなっている	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年であれば、年末需要の消化のため、28日頃まで全機稼働していたが、今年は20日頃から極端に稼働率が低下している。12月の稼働率は75%程度である。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・値下げ競争が激しいため、公共工事の落札価格が当初予算よりも大幅に下回っており、予算が余る状況が続いている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・例年であれば、第3週から物量が増加するはずであるが、今年は買い控え、仕入れ控えを反映してか、第4週の3日間のみ増加した。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・荷物の量が年末なのに通常日と全く変わらない。また、荷物の内容をみても、売れている商品が見当たらない。
		公認会計士	取引先の様子	・小売、サービス業ともに、減収、減益の状況が続いており、特にキャッシュフローが悪化している。設備投資関連においては、言うまでもなく受注の落ち込みが激しい。
		悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は相変わらず増加しているが、新規求人も増加しているため、判断が難しい。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・相変わらず採用意欲の減退が顕著である。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新卒採用予定の企業が対前年比1%ぐらい減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は、15か月連続して対前年同月比マイナスとなっている。また、新規求人数も建設業、製造業、卸・小売、飲食店、サービス業で対前年同月比マイナスとなっている。建設業と製造業では、対前年同月比2ケタのマイナスが7か月連続となり、卸・小売、飲食店、サービス業でも、前月に続いてのマイナスとなっている。
	悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・例年であれば、派遣の依頼件数が増える時期であるが、今年は、前年、あるいは前々年よりも非常に動きが鈍くなっている。